



令和6年 11月 14日

第507号

新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

いじめについて

校長 飯塚 進

10月の終わりにつばさ東豊委員会の子どもたちが、いじめ見逃しゼロ集会を開いてくれました。いじめのない、いじめを見逃さない学校にしよう自分たちで内容を工夫しながら取り組んでくれました。「いじめ」についての劇を行い、それを見た子どもたちが、それぞれの場面について考えるというものです。

誰だって、安心して過ごせる学校を望んでいます。これとって大喜びするようなことがない毎日でも、心配なこと、嫌なことがなければ、平和で和やかに安心して過ごすことができます。

その平和で安心な毎日を壊すのが、「いじめ」です。いじめがあった時、いじめられる子どもはもちろん、その子どもの御家族、また、いじめてしまった子どもの御家族も傷つきます。最終的には、いじめてしまった子どもも傷つくことが多いようです。つまり、いじめは本当に多くの人の心を傷つける行為です。

また、時には、いじめられる子どもにも原因があると思っている子どもがいます。しかし、それは間違った考え方です。いじめること、いじめられることに正しい理由は一切ありません。いじめられて苦しんでいるのに、いじめられている人に原因があると考えたことは、その子どもに追い打ちをかけることとなります。その人に直して欲しいことがあるからといって、いじめてよいことにはなりません。

まずは、子どもたち一人一人が「いじめをしない」と心に決めてほしいと思っています。いじめる人がいなければいじめられる人もいなくなるのです。それでも、もし、いじめを見たら、誰か信頼できる大人に伝えてほしいと考えています。子どもたち自身がいじめを止められれば一番いいのですが、それはなかなか勇気のいることです。担任等やお父さん、お母さん、家族の誰でもいいので、信頼している大人に相談してほしいと思っています。そのことが、いじめられて苦しんでいる人を救うこととなります。そしていじめという間違ったことをしている人を気付かせることとなります。いじめがなくなるということは、いじめられている人もいじめている人も結果的に救われることになるのです。やがてそれは子どもたち自身を守ることになると思います。

11月はいじめ見逃しゼロ月間です。つばさ東豊委員会の子どもたちが伝えてくれたように、いじめをしない、させない、見逃さないクラス、学年、平和で和やかに安心して過ごせる学校にしていきたいと思っています。

